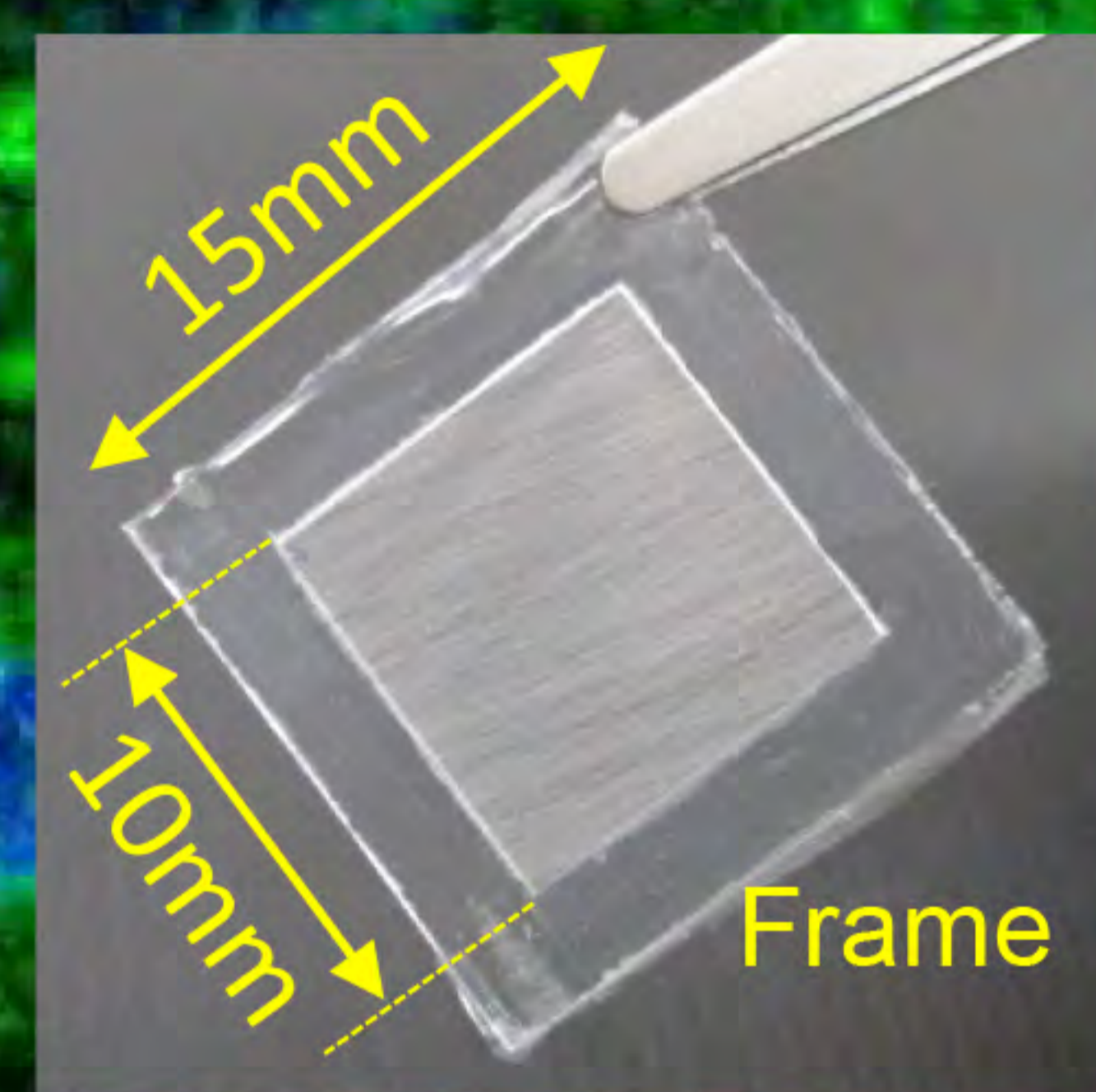


SCAD-MT™ cardiomyocyte

ヒトiPS細胞由来のヒト心臓様ミニ組織



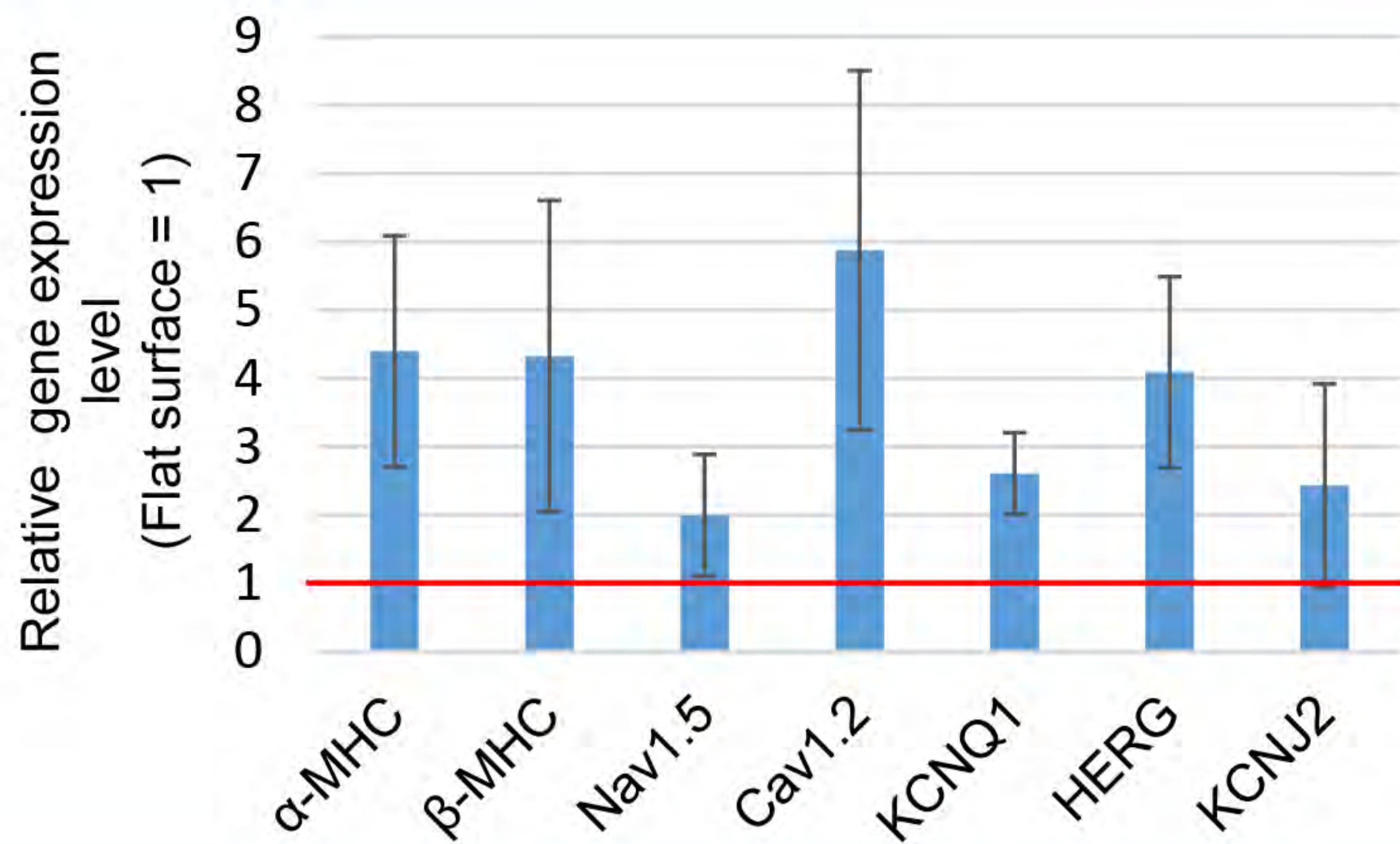
製品特長

- iPS細胞から高効率で分化させた心筋細胞(~98%)を使用
- 取り扱いが容易
- Ready-to-use仕様(解凍・前培養が不要)
- 心筋組織様な3次元・多層構造
- 細胞外電位測定時に明瞭な再分極ピークを検出
- 高い安定性と機能性
- 良好な薬剤応答
- 成熟性の向上(成熟関連遺伝子の高発現)

製品内容

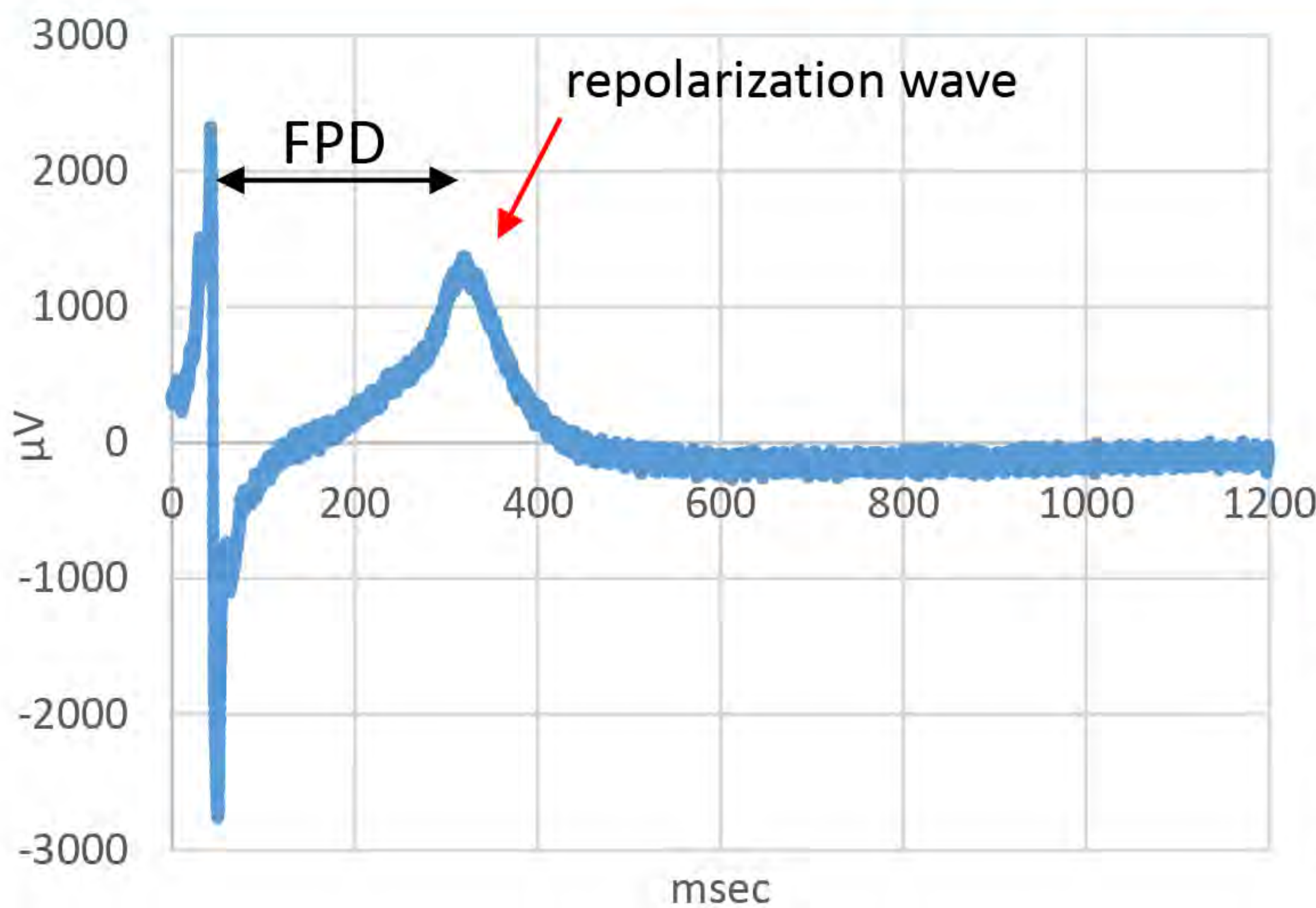
製品名	ソース	形式; 内径(外径)
SCAD-MT™ cardiomyocyte (ベータ版)	human iPS cell	10 mm x10 mm (15 mm x 15 mm)

遺伝子発現



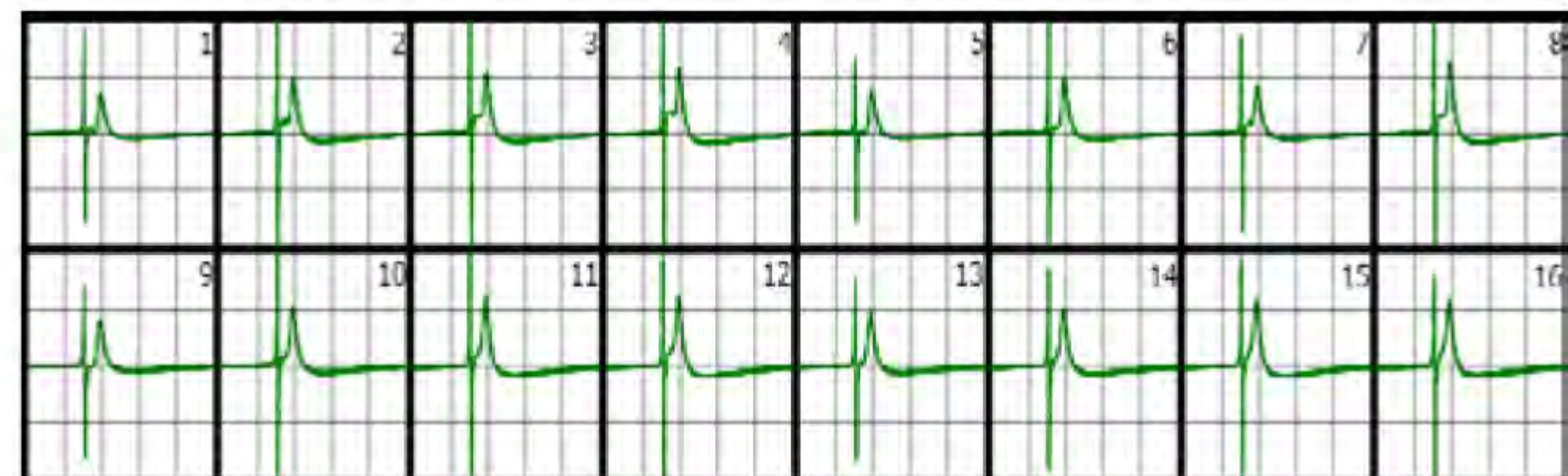
SCAD-MT cardiomyocyte では、心筋細胞の構造タンパク質とイオンチャネル遺伝子の発現が、平面培養した心筋細胞と比べて向上。平面培養した心筋細胞の遺伝子発現レベルを1 (赤線)とした相対値。

多電極アレイシステムの電気シグナル

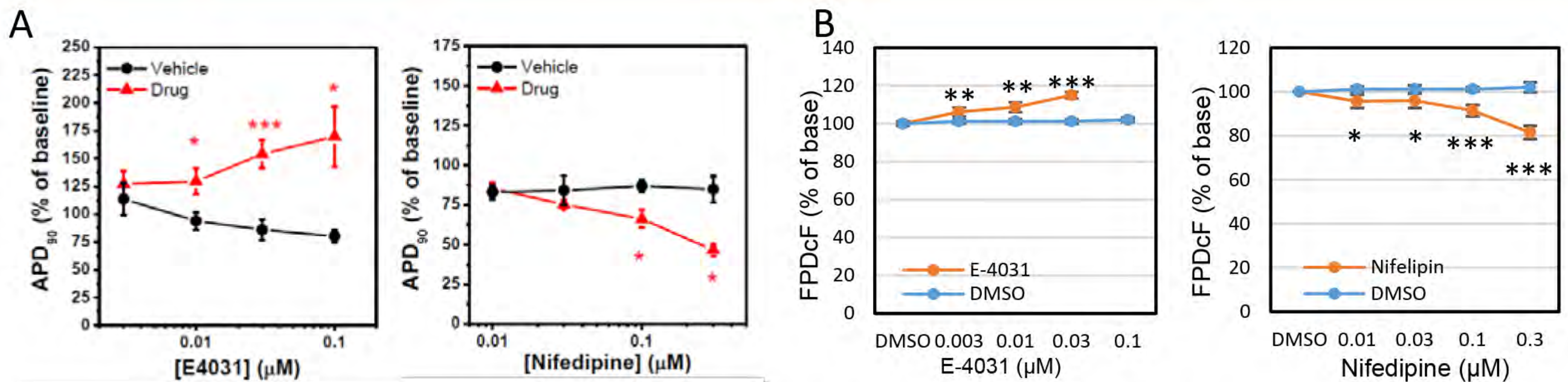


SCAD-MT cardiomyocyte の電気シグナルは増幅され、明瞭な再分極ピークとして検出。また、すべてのMEA電極で電気シグナルを検出。FPD: Field Potential Duration

多電極アレイシステム (MEA) (アルファメッド社) を用いて細胞外電位を測定。



薬剤応答



活動電位持続時間90% (APD₉₀) へのE-4031、Nifedipine、Mexiletine、Flecainideの薬剤応答結果
 A. CelloPTIQ® (英国 Clyde Biosciences社) による測定結果、B. MEAによる測定結果
 *p<0.05; **p<0.01; ***p<0.001

- 本製品は研究用として販売しております。臨床診断用途には使用できません。
- SCAD-MT™は(株)幹細胞&デバイス研究所の商標です。
- 価格、納期はお問い合わせ下さい。